

南武地域同胞情報誌  
2017年 2月 1日発行  
(毎月1日発行)  
累計第125号

# 南武동포동네

NAMBU TONGPO FONGNE

南武同胞生活相談綜合センター  
〒211-0063 中原区小杉町1-526  
TEL: 044-722-0724  
FAX: 044-733-0188  
Eメール: nambuchibu@gmail.com

## ★2017年神奈川同胞青年成人式

2017年1月8日(日)  
ローズホテル横浜



「神奈川同胞青年成人式」が横浜ローズホテルにて、成人者33名、総聯中央の裴益柱副議長を始めとした各機関代表者、保護者、高校時代の恩師、関係者など、総勢117名が参加して行われました。

南武地域では、朴誠信さん、禹宗浩さん、孫熙俊さん 3名が成人を迎えました。

成人式1部では、地域商工会からの記念品贈呈、成人者代表による決意表明などが行われました。

2部では成人式実行委員会が企画した、恩師へのインタビュー、新成人らが作詞・作曲した歌の合唱、タイムカプセルの中身公開など、様々な企画が行われ大いに盛り上がりました。

新成人を迎え、決意新たに同胞社会の未来を築き上げていく新世代の若者たちの、堂々とした立派な姿をみて、すべての参加者が同胞社会に対する明るい未来を描くことが出来ました。

今年成人を迎えた3名の南武地域出身のトンム達、열렬히 축하드립니다!



## ≡〈2017年南武同胞新春講演会&新年会〉≡

2017年1月15日(日)南武朝鮮初級学校



〈2017年南武同胞新春講演会&新年会〉が南武学校で行われました。参加者で新年のあいさつを交わした後、第1部〈新年講演会〉では、総連神奈川県本部宣伝部長を講師に招き、共和国を取り巻く情勢や今年の動向、また同胞社会と民族教育を取り巻く環境と運動の柱について語って頂きました。

第2部新年会では、南武青商会会長に乾杯の音頭を頂きみんなで食事を楽しみました。

今年は南武初級学校創立70周年を輝かしく迎えた昨年の実績をもって、〈民族教育〉を守り発展させるため南武同胞が一心団結して力強く前進していきましょう!

# 朝青南武支部 <千ヨ千ヨンサンタ>

2016年12月23日(土) 南武地域同胞宅

朝青南武支部が同胞たちからの要望から実現した<千ヨ千ヨンサンタ>が昨年クリスマスに同胞たちの家に訪れました☆

サンタとトナカイに扮した朝青員たちが事前に預かった子どもたちへのプレゼントをもって同胞たちの家々をまわり子どもたちを喜ばせました。

サンタの登場にびっくりする子供たちを見て、アッパとオンマも自然と笑顔に(^\_^)

今年のクリスマスにも朝青サンタが来てくれることを願ってます♪



## 神奈川県知事 朝鮮学校 子どもたちへの学費補助<留保>

2017.1.31 神奈川新聞 石橋 学

### かみ合わせぬ「約束」

黒岩裕治知事が朝鮮学校に通う子どもたちへの学費補助金の交付決定を留保して3カ月近くがたった。学校側が教科書改訂の約束を果たしていないというのが理由だが、そうした約束が守られないのに知事は「約束が守られないままでは県民の理解が得られない」と不交付の可能性にも言及した。朝鮮学校と子どもたちに対する理不尽な扱いはいくらも知らな

い。補助金交付の留保を発表した昨年11月8日の定例会見で、知事は「学費補助制度は教科書改訂が前提。それができなかった。話が違いう。留保せざるを得ない」と説明した。2016年度中に行うとされていた改訂が13年度に続いて延期されたことを挙げ、「いわれただけが約束を果たすというわけにはいかな」と不交付の可能性に言及した。

県が前提の基としているのは、朝鮮学校を運営する学校法人神奈川朝鮮学園が11年5月、問い合わせの回答文で示した「拉致問題を教科書に適切に記述するよう取り組んでいきます」という文言だ。だが、学園側は改訂を約束したという認識はない。なぜなら学園側に改訂の権限はないからだ。全国統一の教科書は朝鮮大学校教授らでつくる教科書編纂委員会が作成している。学園側ができるのは拉致問題を記述するよう編纂委員

### 時代の正体 朝鮮学校補助金考

会に要請することまで。だから前提は「教科書の改訂」ではなく、編纂委員会への「改訂の要請」でしかない。知事はあくまで言った。「学園が改訂を持ちかけたのは間違いではない。それは評価する。だが、編纂委員会は改訂しなかった。やはり約束が違っ」 県私学振興課は「編纂委員会と直接約束したことはない。そもそも教科書の改訂は約束ではなく、制度の前提。それが崩れば新たな判断があり得るので、交付を留保し、前提がどうなるかというのを確認している段階」と説明する。一方、「教科書の改訂は補助制度の交付要件になっていないので交付、不交付を判断する条件にはならない」。それがなぜ約束として語られる条件のように突きつけられるのか。 同課は言う。「教科書を改訂してほしい」というメッセージだ。この一見、朝鮮学校側の取り組みを促すよう配慮しているかのような姿勢こそ、補助金を巡る問題の根源があるように思える。そこに透けて見えるのは朝鮮学校は悪い教科書を使い、悪い教育を行っているという根深い不信と悪感だからだ。

### 逸脱

そもそも県が教科書の改訂を求めることはできない。私立学校の教科書や教育内容に口を出し、変更を求めるのは干渉以外の何ものでもない。そうした権限は県にはいりか、教育の独立をうたう教育基本法、私立学校法に抵触する。できないだけでなく、してはならないというのが県の立場だ。だから、朝鮮学校と同じく補助

金が支給されているインターナショナルスクールで米国の原爆投下はこう教えられているか、中華学校の教科書で尖閣諸島はどう記述しているか確認したこともない。だが、朝鮮学校に限っては補助金交付を口実に「反日的な教育をしている学校に補助金を出すべきではない」と、教育内容を踏み込み介入がなされてきた。 10年には当時の松沢成文知事が「教育内容を確かめる必要がある」と交付を時留保。教科書「現代朝鮮歴史」の「日本当局は『拉致問題』を極大化し、反共和国、反総連、反朝鮮人騒動を大々的に繰り広げることによって、日本社会には極端な民族排他主義的雰囲気を作り出されていった」という表現に疑問を呈した。記述の見直しを編纂委員会に働きかけたが学園側の回答を受け、交付を決定した。

### 配慮

14年3月、外国入学校に交付してきた補助金を廃止し、児童生徒への補助に切り替える現行の制度を創設した時でも、たまたま学園側がつくる独自教材について「中身を見て判断する。ある程度のボリューム感や日本語が見て正しくラ致感や向き合っていると思ふかどうかも問われる」と、それが交付の条件であるかのような発言をすで行っていた。 そして、昨年11月の会見。前述の拉致問題に関する記述を「非常に誤った記述」と断じ、「正しい認識の拉致問題を入れるということが前提になっていた」と述べ、単に記述を求めるだけでなく、「正しい」内容でなければならぬことさらに踏み込んでみせた。 日本人の子どもが日本の学校で日本語や日本の歴史、文化を学んでいる前に学ぶように、いかにしても民族の言葉や歴史、文化に関する教育を受ける権利は等しく保障されなければならない。その歴史は国や民族が違えば、見方や教え方も当然異なるという基本的な認識を欠いたまま、「県民の理解」が得られる「正しい」教育を求める逸脱と側面は加速してきている。

県が学園との約束違反を理由に不交付とすれば、自らの施策の精神を自ら否定することになる。児童生徒への補助に切り替えた目的は「外国人学校に通う子どもたちが国際・政治情勢に左右されず教育を受ける機会を安定的に確保すること」だからだ。 13年度、県は北朝鮮の核実験を理由に朝鮮学校への補助金を打ち切った。教育に外交問題を持ち込み、子どもに制裁の肩代わりを強いる筋違いな措置に批判が集まり、知事自身、「補助金を打ち切った後も生徒には罪がない」という思いがあったと振り返っている。では、いま「信義」の問題を持ち出し、交付を留保し、不交付にまで言及していること「生徒には罪がない」との思いはより正しいのだろうか。約束を守っていないのは子どもたちではない。教科書改訂の責任もたない。なにがせ、子どもたちが不安にさらされ、自分たちではどうすることもできない学園の対応いかんで不利益を被らなければならないのが、そのような疑問は浮かんでいない。 それはばかりか、「学校の問題、編纂委員会の問題であり、われわれの問題ではない」と突き放し、「県民は自分たちの税金がどう使われているか関心を持っている。約束が守られないままでは県民の理解が得られないと言いつつ、放ったが国際・政治情勢に左右されず教育を受ける機会を安定的に確保すること」では無視されている前提はここでは無視されている。 昨年11月22日、補助金交付の留保を発表したる週間後の会見では「子どもたちが国際情勢に振り回されるのは良くないと、生徒一人一人に対する学費補助という制度をつくらせてきた。朝鮮学園に対する信義の問題で、約束が果たせないとしたら、あなたたちはどうして子どもたちが国際紛争に巻き込まれないような状況にしようと思わないのか」と私はむしり言いた。われわれは配慮をしているのに、それをやらないうのはあなたたちの問題であり、われわれが朝鮮学園に対し、何かをしてやってくたさいと依頼する立場にはない。 巻き込ませてはいけないものに巻き込ませているのは誰か。独善を顧みぬ錯誤をいさめる声は県庁、県議会からの上ま上がらないのだろうか。



在日朝鮮人のインテリィーを育んできた神奈川朝鮮高級学校 横濱市神奈川区

# ◀東日本口演大会▶ 開催!

2017年1月29日(日) 東京朝鮮中高級学校



東京朝鮮中高級学校で行われた東日本地方中央口演大会で、南武学生たちが日頃の練習成果を出し切り、大きな成果を上げることができました。

△競演結果

芸術宣伝部門 金賞&優秀作品出演!!

演劇部門 銅賞

低学年イヤギ部門 1年 優秀賞、3年 優秀賞

高学年朗読部門 5年 銀賞、6年 銀賞

高学年イヤギ部門 4年 銀賞

頑張った学生たちと、指導に当たった教員たちに拍手!! おめでとうございます!

昨年に引き続き久地二子分会の新年会が総連/女盟分会合同で行われました。

昨年末から分会役員たちが分担して声掛けし動員作業を行ってきました。

当日は、分会同胞が営むお店<コリアンダイニングSAI(彩)>で新年会を行いおいしい料理とお喋りで盛り上げました!

分会新年会が恒例行事として定着しつつある久地二子分会では昨年の活動実績を土台に、分会同胞たちに密着した活動をこれからも続けていきます!

南武地域における分会活性化事業で久地二子分会をお手本に、各分会活動を盛り上げていきましょう!

## 久地二子分会<合同新年会>

2017年2月1日(水) コリアンダイニング SAI(彩)



## <総聯中原分会>地域協議

2017年1月13日(金) 韓国家庭料理 チョリ

分会活性化事業のために、南武青商会が一肌脱いでくれました。

南武地域の分会では一番広い範囲に設定されている<中原分会>。実際に活動を行うのが簡単でない分会ですが、若手が集まり実働を伴う活動方針を協議しました。この日は分会の現状、同胞名簿、これからの方針についてと目標を定め、4月の南武同胞花見に向けて活動していくことが決まりました。

分会活動が活性化すれば、南武同胞社会が盛り上がり、民族教育を守り発展させていく力を飛躍的に底上げできると確信をもって分会活動に取り組んでいます。

<同胞ファースト>を掲げるこれからの分会活動に注目してください!



地域活性化のために頑張ります☆

## 「テセフレンズ」集合！

2016年12月23日(金) 川崎 「満うま」

昨年J2でリーグ優勝を飾り、得点王にも輝いた我がらが鄭大世選手をお祝いするために「テセフレンズ」のメンバーが久々に集まりました。テセ選手を囲み前期シーズンでの記憶に残るプレーやゴールについて語りながら、現在清水エスパルスにてプレーするテセ選手がJ1リーグで活躍することを願ってテセフレンズも活動を再開する運びになりました。

テセ選手のこれからのプレーに期待大！



## 4コマ漫画 南武美ちゃん

作絵 **みるる**  
「日本は一〇億円支払った  
「合意を誠実に履行せよ」  
駐韓日本大使 時帰国そして

no.73



2017.2

### 神奈川中学男子バスケ優勝

1月7日-8日にかけて行われ、神奈川中高 中級部男子が決勝で東京朝中を62対21で下し優勝を飾りました!

頑張った学生と指導教員、応援に駆け付けた学父母のみなさんおめでとうございます!



2月	行事
1日(水)	支部常任委員会(19:00)
4日(土)	南武学校<体験授業&節分>
5日(日)	神奈川県商工会<新春の集い>(~6日)
8日(水)	南武教育会理事会(19:30)
10日(金)	高麗会ミニデイ(11:00) 南武青商会幹事会(19:30)
15日(水)	神奈川県ウリ学校マラソン大会 光明星節 中央大会
16日(木)	光明星節
18日(土)	朝鮮学校ツアー(対外公開授業) 神奈川県同胞女性たちの集い
22日(水)	高麗会ミニデイ(11:00)
24日(金)	神奈川民族教育のための決起集会
25日(土)	県下ウリハッキョ低学年<口演発表会>
28日(火)	神奈川中高<献血>